

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

Bluetooth アダプター

# CD-BTB10

取扱説明書

目次 4ページ

# carrozeria

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

**販売店様へ**

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

#### 運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

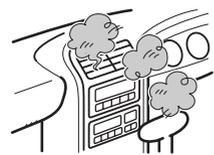
### [異常時の処置]

#### 故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

安全のために必ずお守りください..... 2

絵表示について  
安全上のご注意

## はじめに

ご使用になる前に..... 5

本機について  
Bluetoothについて  
電波に関するご注意

組み合わせるメインユニットについて..... 6

本機のリセットについて..... 6

電話帳関連および履歴のデータを消去せずに本機をリセットする  
電話帳関連および履歴のデータを消去して本機をリセットする

## 携帯電話を使う

Telephoneソースについて..... 8

電話の待受ソースについて  
Bluetooth対応の携帯電話の使用について  
Telephoneソースの機能とこの章の構成

電話番号を入力して電話をかける..... 11

プリセットダイヤルで電話をかける..... 11

音声操作で電話をかける..... 12

かかってきた電話に出る..... 12

かかってきた電話を切る（着信拒否）..... 13

通話中にかかってきた別の電話に出る（キャッチホン）..... 13

通話中にかかってきた別の電話を切る（着信拒否）..... 13

機能設定メニューを表示する..... 14

携帯電話を接続する..... 14

接続可能な携帯電話を検索して接続する  
携帯電話から接続する

Bluetooth接続を解除する..... 16

携帯電話を登録する..... 16

登録されている携帯電話を接続する..... 17

登録されている携帯電話を自動で接続する..... 17

携帯電話の登録を削除する..... 18

携帯電話の電話帳を転送する..... 18

電話帳の表示方法を切り換える..... 19

電話帳から電話をかける..... 20

電話帳編集画面を表示する..... 20

電話帳データの名前や電話番号を編集する..... 21

電話帳データを削除する..... 21

履歴から電話をかける..... 22

よくかける電話番号を登録する..... 22

データを消去する..... 23

着信拒否を設定する..... 24

着信音をON/OFFする..... 24

自動着信を設定する..... 24

通話中のノイズやエコーを軽減する..... 25

本機のデバイス情報を確認する..... 25

携帯電話のデバイス情報を確認する..... 25

## BT AUDIOを使う

BT AUDIOソースについて..... 26

Bluetooth対応機器の使用について

再生する..... 27

再生を停止する..... 27

再生を一時停止する..... 27

聞きたい曲を選ぶ、早送り/早戻しをする..... 27

機能設定メニューを表示する..... 28

Bluetooth対応機器を接続する..... 28

本機のデバイス情報を確認する..... 29

Bluetooth接続を解除する..... 29

## 初期設定

Bluetoothのパスコードを変更する..... 30

## エクスターナルユニットとしての操作

その他のメインユニットと組み合わせた場合..... 32

機能対応表..... 34

携帯電話を接続する..... 50

携帯電話から接続する..... 50

携帯電話を登録する..... 51

携帯電話の接続を解除する..... 51

音声操作で電話をかける..... 51

自動着信を設定する..... 52

登録されている携帯電話を自動で接続する..... 52

着信音を設定する..... 52

本機のデバイス情報を確認する..... 53

Bluetooth対応機器を接続する..... 53

Bluetooth対応機器の接続を解除する..... 53

## 接続のしかた

接続・取り付け部品を確認する..... 54

接続の前に知ってほしいこと..... 55

接続する..... 56

## 取り付けかた

取り付けの前に知ってほしいこと..... 58

本機を取り付ける..... 59

マイクを取り付ける..... 60

サンバイザーにはさんで取り付ける場合  
ステアリングポストに取り付ける場合

## 接続・取り付けが終わったら

動作を確認する..... 62

## 付録

故障かな？と思ったら..... 64

こんなメッセージが表示されたら..... 65

保証書とアフターサービス..... 66

おもな仕様..... 67

# ご使用になる前に

## 本機について

本機は、パイオニア製メインユニット用のBluetoothアダプターです。

- Bluetooth無線技術を利用して、Bluetooth対応の携帯電話でハンズフリー通話を行うことができます。
- BT AUDIO (Bluetoothオーディオプレーヤー) 対応のBluetooth機器とBluetooth無線技術を利用して接続すると、Bluetooth機器をパイオニア製メインユニットのBT AUDIOソースとして使用することができます。

## Bluetoothについて

Bluetoothとは、携帯電話やパソコンなどを接続するための短距離無線技術です。Bluetooth対応機器間でハンズフリー通話やデータ転送などを行うことができます。

Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者パイオニア株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のものであります。

## 電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - \*分解/改造すること。
  - \*本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  - \*無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
  - \*火災報知器・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
  - \*工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - \*マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - \*自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
  - \*自動制御機器・その他、Bluetooth™対応機器やVICS
  - \*アマチュア無線局（道路交通網システム）など



- ① 「2.4」 GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」 変調方式を表します。
- ③ 「1」 想定される与干渉距離（約10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

## 組み合わせるメインユニットについて

本書では、メインユニット「AVH-P90DVA」を例に本機の操作を説明しています。「AVH-P90DVA」以外のメインユニットと組み合わせた場合は、操作方法が異なります。（「その他のメインユニットと組み合わせた場合」32ページ）

## 本機のリセットについて

本機をリセットして初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻すことができます。リセットには2通りの方法があり、それぞれリセットの内容と操作時のエンジンスイッチの位置が異なります。

### ご注意

- 車のエンジンスイッチがON（ACC ON）のときに本機のリセットボタンを押すと、本機のメモリの内容が消去されます。メモリの消去にかかる時間は、約10秒です。リセットボタンを押してから約10秒間は、車のエンジンスイッチをON（ACC ON）のままにしておいてください。

### 電話帳関連および履歴のデータを消去せずに本機をリセットする

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。この方法では、電話帳関連および履歴のデータは消去されません。ただし、次の設定は初期設定状態に戻ります。

- 電話帳表示切替
- 自動着信
- 着信拒否
- 自動接続
- エコーキャンセル

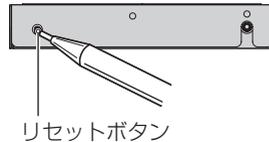
次のようなときに、この方法でリセットしてください。

- 接続が終わったあと
- 本機とメインユニットの接続をしなおしたとき
- 本機が正しく動作しないとき
- メインユニットのディスプレイが正しく表示されないとき
- ハンズフリー通話の操作で問題が発生したとき

## 1 車のエンジンスイッチをOFFにする

## 2 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



## 電話帳関連および履歴のデータを消去して本機をリセットする

個人情報を守るために、本機のメモリに保存されている電話帳関連および履歴のデータを消去することができます。

## 1 車のエンジンスイッチをONまたはACCにする

## 2 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す

すべてのメモリの内容が消去されます。

すべてのメモリの内容が完全に消去されていることを確認してください。確認については（16ページ）。すべての電話の登録が空欄になっていれば、メモリの内容は完全に消去されています。

- メモリの消去にかかる時間は、約10秒です。リセットボタンを押してから約10秒間は、車のエンジンスイッチをON（ACC ON）のままにしておいてください。

# Telephoneソースについて

Bluetooth無線技術を利用して、Bluetooth対応の携帯電話を本機で使用することができます。

- 本機はBluetooth対応の携帯電話に使用できます。
- Bluetoothのバージョンによっては、本機と通信接続できないBluetooth対応の携帯電話があります。
- 本機は、すべてのBluetooth対応の携帯電話との接続動作を確認しているわけではありません。また、Bluetooth対応の携帯電話との接続をすべて保証するわけではありません。
- 本機と接続した状態で、Bluetooth対応の携帯電話で発信、着信、キャッチホンの操作を行うと、本機とBluetooth対応の携帯電話の状態が一致しないことがあります。
- Bluetooth無線接続状況は周囲の環境に左右される場合があります。
- 本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗する原因になります。
- 車のエンジンスイッチをACCまたはONにしているとき、本機は電話の待ち受け状態になります。
- 対応プロファイルとその概要は次のとおりです。

GAP (Generic Access Profile)	: Bluetooth対応機器間の接続を管理するためのプロファイル
SDP (Service Discovery Protocol)	: 他のBluetooth対応機器がサポートしているサービスを調べるためのプロトコル
OPP (Object Push Profile)	: アドレス帳やスケジュールを転送するためのプロファイル
HSP (Head Set Profile)	: Bluetooth対応のヘッドセットと接続するためのプロファイル
HFP (Hands Free Profile)	: Bluetooth対応のハンズフリー機器と接続するためのプロファイル
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	: 高音質オーディオを転送するためのプロファイル
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	: AV機器をリモートコントロールするためのプロファイル

\* 通信接続するBluetooth対応の携帯電話に同じプロファイルが搭載されている必要があります。

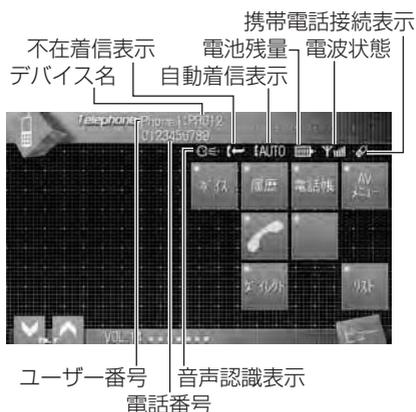
- 電話番号を入力して電話をかけたり、電話帳を利用するなどの高度な機能は、走行中は操作できません。そういった機能は、車を安全な場所に停車してから操作してください。
- FUNCTIONメニューでの設定をするには、車を停車してパーキングブレーキをかける必要があります。

## 電話の待受ソースについて

- 本機でBluetooth対応の携帯電話を使用してハンズフリー通話を行うには、Bluetoothの接続設定をする必要があります (14ページ)。
- 一度携帯電話を接続すると、接続を解除するまで接続されたままの状態になります (電話の待受ソース)。また、他のソースを選んでいる場合でも、電話がかかってきたときなどに対応できます。

## 1 ソースを電話の待受にする

ソースアイコンにタッチして、**Telephone**にタッチする



## Bluetooth対応の携帯電話の使用について

Bluetooth対応の携帯電話を使用して、ハンズフリー通話や本機への電話帳転送を行う場合、携帯電話の接続や、接続している携帯電話の登録を行う必要があります。Bluetooth対応携帯電話を接続するには（14ページ）

- 登録をしていない携帯電話でも、一時的に接続して使用することが可能です。ただし通常よく使う携帯電話は、登録しておくことをおすすめします。接続している携帯電話を登録するには（16ページ）
- 接続する携帯電話の着信音や受話音量を調整しておいてください。調整した音量値は記憶されます。音量を調整するには（12ページ）
- 着信音や受話音量を調節していても、電話をかけた相手の電話機によって変化する場合があります。
- 着信音と受話音量の差が大きいと、全体的な音量レベルは不安定になる場合があります。
- 携帯電話の接続を解除する前に、必ず音量を調節してください。ここで記憶した音量値が、接続を解除した後の携帯電話の音量値となる場合があります。
- Telephoneソースを選ぶと、音量とイコライザーカーブはそれらのソース用に自動で切り換わります。ほかのソースに切り換えると、音量とイコライザーカーブは元の設定に戻ります。
- Telephoneソース用のイコライザーカーブは変更できません。

## Telephoneソースの機能とこの章の構成

### ■ハンズフリー通話の基本的な操作

次の項目では、Bluetooth 接続した携帯電話の基本的な操作について説明しています。

- 電話番号を入力して電話をかける（11ページ）
- プリセットダイヤルで電話をかける（11ページ）
- 音声操作で電話をかける（12ページ）
- かかってきた電話に出る（12ページ）
- かかってきた電話を切る（着信拒否）（13ページ）
- 通話中にかかってきた別の電話に出る（キャッチホン）（13ページ）
- 通話中にかかってきた別の電話を切る（着信拒否）（13ページ）

## ■ 携帯電話の接続のしかた

次の項目では、接続のしかたについて説明しています。

- 携帯電話を接続する (14ページ)
- Bluetooth接続を解除する (16ページ)
- 携帯電話を登録する (16ページ)
- 登録されている携帯電話を接続する (17ページ)
- 登録されている携帯電話を自動で接続する (17ページ)
- 携帯電話の登録を削除する (18ページ)

## ■ 電話帳データを利用する

次の項目では、電話帳データの利用方法や編集操作について説明しています。

- 携帯電話の電話帳を転送する (18ページ)
- 電話帳の表示方法を切り換える (19ページ)
- 電話帳から電話をかける (20ページ)
- 電話帳編集画面を表示する (20ページ)
- 電話帳データの名前や電話番号を編集する (21ページ)
- 電話帳データを削除する (21ページ)

## ■ 便利な機能

次の機能は、必要に応じてお使いください。

- 履歴から電話をかける (22ページ)
- よくかける電話番号を登録する (22ページ)
- データを消去する (23ページ)
- 着信拒否を設定する (24ページ)
- 着信音をON/OFFする (24ページ)
- 自動着信を設定する (24ページ)
- 通話中のノイズやエコーを軽減する (25ページ)
- 本機のデバイス情報を確認する (25ページ)
- 携帯電話のデバイス情報を確認する (25ページ)

# 電話番号を入力して電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

- 1 ナンバー入力発信モードにする  
ダイレクトにタッチする (9ページ)

- 2 電話番号を入力する

0～9、\*、#にタッチする

入力した数字を消去するには、**クリア**にタッチします。



- 3 電話をかける

☎ にタッチする

入力した電話番号に発信します。

# プリセットダイヤルで電話をかける

プリセットダイヤルに登録されている電話番号へ電話をかけることができます。プリセットダイヤルへの登録については (22ページ)

- 1 プリセット番号を表示する  
リストにタッチする (9ページ)

- 2 プリセット番号を選ぶ

P1～P6の1つにタッチする



- 3 電話をかける

☎ にタッチする

選んだプリセット番号に登録されている電話番号に発信します。

- 選んだプリセット番号に電話番号が登録されていない場合、No Data と表示されます。

# 音声操作で電話をかける

音声認識機能のある携帯電話がHFP（8ページ）接続されている場合、音声認識機能で電話をかけることもできます。音声操作について詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

## 1 音声認識モードにする

**ボイス**にタッチする（9ページ）

音声操作ができるようになります。

### ご注意

- 音声認識機能のない携帯電話の場合、**ボイス**がグレーで表示されて、操作できません。

## 2 音声操作で電話をかける

電話をかけたい相手の名前を発話する

発話した名前の相手に発信します。

# かかってきた電話に出る

本機がソースOFFのときやどのソースを聞いているときでも、かかってきた電話に出ることができます。

## 1 かかってきた電話に出る

**電話機**にタッチする（9ページ）

電話がつながり、通話できます。



## 2 通話中に相手の声の音量（受話音量）を調節する

VOLUMEを回す

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき

## 3 通話を終了する

**電話機**にタッチする

- 通話中に、リモコンのVOLUMEボタンを押して、受話音量を調節することもできます。
- 携帯電話側でシークレット設定などされている場合は、ハンズフリー通話ができない場合があります。
- 自動着信（24ページ）の設定がONの場合は、自動応答機能が働きます。

## かかってきた電話を切る（着信拒否）

電話に出られないときは、着信を拒否することができます。

### 1 かかってきた電話の着信を拒否する

☞ にタッチする（9ページ）

かかってきた電話が切れます。

- かかってきた電話の着信を手動で拒否した場合、番号が不在着信履歴に記録されます（22ページ）。
- すべての着信を自動で拒否することもできます。この場合、番号は不在着信履歴には記録されません。

## 通話中にかかってきた別の電話に出る（キャッチホン）

通話中にかかってきた別の電話に出ることができます。また、キャッチホン通話中に相手を切り換えることができます。

### 1 通話中にかかってきた電話に出る

☞ にタッチする（9ページ）

タッチすることに通話の相手が切り換わります。

### 2 通話を終了する

☞ にタッチする

すべての通話が切断されます。

- キャッチホンの利用には、別途、携帯電話会社との契約が必要です。
- 携帯電話や携帯電話会社のサービスによって、操作が異なる場合があります。
- 携帯電話によっては、本機からのキャッチホンの操作を受け付けられない機種もあります。

## 通話中にかかってきた別の電話を切る（着信拒否）

通話中にかかってきた別の電話を切るすることができます。

### 1 通話中にかかってきた別の電話を切る

キャッチホンの着信中に、☞ にタッチする

後からかかってきた電話が切れます。

- 通話中にかかってきた別の電話の着信を拒否した場合、番号は着信履歴または不在着信履歴には記録されません。

# 機能設定メニューを表示する

携帯電話の接続に関する設定などは、機能設定メニューで行います。

- 機能設定メニューでの設定をするには、車を停車してパーキングブレーキをかける必要があります。

## 1 AVメニューを表示する

AVメニューにタッチする

## 2 機能設定メニューを表示する

機能設定にタッチする



- **終了**にタッチすると、ソース画面に戻ります。
- **戻る**にタッチすると、前の画面に戻ります。
- 接続中の電話機がユーザーとして登録されていないときは、**電話帳転送**と**電話帳表示切替**は表示されません。
- 接続中の電話機が登録されていないときは、**ユーザーメモリ消去**は表示されません。

# 携帯電話を接続する

ハンズフリー通話や本機から携帯電話の操作を行うには、Bluetooth無線技術で接続する必要があります。

- 通常はHFPで接続されます。この場合、Telephoneソースのすべての機能を使用できます。ただし、携帯電話から接続したときなどには、HSPが使われることがあります。この場合、いくつかの機能が使用できないことがあります。
- Bluetooth無線技術で接続された携帯電話は、本機に登録しなくても使用することができます。この状態を「一時接続」と言います。ただし一時接続では、操作できる機能に制限があります。すべての機能を操作できるように、よくお使いになる携帯電話は、本機に登録することをお勧めします。携帯電話に登録するには（16ページ）

## 接続可能な携帯電話を検索して接続する

本機と接続可能な携帯電話を検索して接続することができます。

## 1 BT機器接続モードにする

機能設定メニューで**電話機接続**にタッチする

## 2 接続可能な携帯電話を探す

**電話機検索**にタッチする

接続可能な携帯電話が見つかったら、デバイス名（機器名称）が表示されます。



- 接続可能な携帯電話が複数台見つかった場合は、▲または▼にタッチして、リストを切り換えることができます。
- 携帯電話のデバイス名を取得できなかった場合、Name Not Found と表示されます。
- 接続可能な携帯電話が見つからなかった場合、NOT FOUND と表示されます。
- **デバイス情報**にタッチすると、携帯電話のデバイス名（機器名称）とデバイスアドレスを切り換えることができます。

### 3 携帯電話をBluetooth接続する

#### デバイス名（機器名称）にタッチする

接続を完了するには、携帯電話で本機のデバイス名（Pioneer BT unit）を確認し、パスコードを入力してください。接続が完了すると、“接続しました”と表示されます。

- パスコードの初期設定は、「0000」です。パスコードを変更するには（30ページ）

### 携帯電話から接続する

携帯電話からBluetooth接続を行います。（携帯電話の操作方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

#### 1 電話機接続待ち受けモードにする

機能設定メニューで**電話機接続**にタッチする

#### 2 携帯電話からの接続待ち受け状態にする

**電話機接続待ち受け**にタッチする



### 3 携帯電話をBluetooth 接続する

携帯電話を操作して、本機とBluetooth接続する

- 携帯電話によって操作は異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話によっては、パスコードの入力が必要になる場合があります。
- パスコードの初期設定は、「0000」です。パスコードを変更するには（30ページ）

# Bluetooth接続を解除する

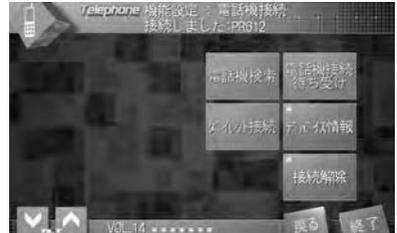
本機にBluetooth接続している携帯電話の接続を解除します。

## 1 接続解除モードにする

機能設定メニューで**電話機接続**にタッチする  
(14ページ)

## 2 本機とのBluetooth接続を解除する

**接続解除**にタッチする  
接続が解除されます。



# 携帯電話を登録する

一時接続中の携帯電話を本機に登録します。本機には、最大5台（ユーザーとして3台、ゲストとして2台）の携帯電話を登録することができます。

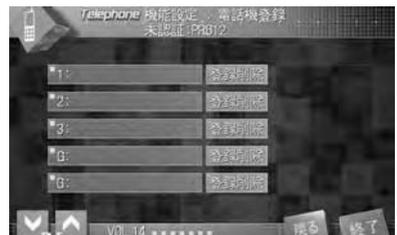
## 1 電話機登録モードにする

機能設定メニューで**電話機登録**にタッチする  
(14ページ)

## 2 携帯電話を登録する

**1**（ユーザー1）、**2**（ユーザー2）、**3**（ユーザー3）、**G**（ゲスト1）、**G**（ゲスト2）の中から登録先を選び、1秒以上タッチする

選んだ設定に登録されます。



- ゲストとして登録された携帯電話では、一部操作できない機能があります。
- 携帯電話が登録されていない欄には、デバイス名（機器名称）は表示されません。
- 登録に失敗した場合、デバイス名（機器名称）が表示されません。登録をやり直してください。
- オーディオの調節内容は、それぞれのユーザーごとに登録されます。

## 登録されている携帯電話を接続する

本機に登録されている携帯電話は、簡単に接続することができます。また、自動で接続することもできます。

### 1 電話機接続モードにする

機能設定メニューで**電話機接続**にタッチする  
(14ページ)

### 2 ダイレクト接続モードにする

**ダイレクト接続**にタッチする

### 3 携帯電話をBluetooth接続する

接続したい携帯電話のデバイス名（機器名称）  
にタッチする

選んだ携帯電話が接続されます。



## 登録されている携帯電話を自動で接続する

本機に登録されている携帯電話が本機とBluetooth接続が可能な範囲にある場合、自動的に本機と携帯電話をBluetooth接続するように設定できます。（この機能は、共通機能です。ユーザー（携帯電話）別に設定することはできません。）

### 1 電話機自動接続設定モードにする

機能設定メニューで**自動接続**にタッチする  
(14ページ)

タッチするごとにON/OFFします。

自動接続設定をONにすると、本機に登録されている携帯電話と自動的にBluetooth接続を開始する待機状態になります。

- 登録されている携帯電話でも機種によっては、自動接続では接続できない場合があります。この場合は、手動で接続してください。手動で接続するには（14ページ）
- 携帯電話の中には、本機との接続時にユーザーに接続することを通知して確認を促す機種があります。そのような機種と組み合わせたときには、本機で自動接続の設定をONにしても、自動では接続できません。携帯電話によっては、その接続確認をしない設定を用意している機種もあります。詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- BT AUDIO再生中は、自動接続では接続できません。この場合に自動接続で接続するには、再生を停止して一度他のソースに切り換えてください。
- 電話の待受ソースやBT AUDIOソースの機能設定メニューの操作中は、自動接続できません。

# 携帯電話の登録を削除する

使わなくなった携帯電話の登録を削除することができます。登録を削除すると、削除された携帯電話の設定（電話帳や発着信履歴など）も同様に消去されます。

## 1 電話機登録削除モードにする

機能設定メニューで**電話機登録**にタッチする  
(14ページ)

## 2 携帯電話を削除する

登録を削除したい携帯電話のデバイス名（機器名称）の右側に表示されている**登録削除**にタッチする



## 3 削除の確認をする

“削除しますか？”と表示されるので、**削除**にタッチする

選んだ携帯電話の登録が削除されます。

削除をやめるときは、**キャンセル**にタッチします。

- メモリの消去にかかる時間は、約10秒です。**削除**にタッチしてから約10秒間は、車のエンジンスイッチをON（ACC ON）のままにしておいてください。

# 携帯電話の電話帳を転送する

ユーザー登録されている携帯電話（1～3）の電話帳データ（名前や電話番号）を本機に転送することができます。本機には最大500件（ユーザー1は300件、ユーザー2は150件、ユーザー3は50件）の電話帳データを転送することができます。

## 1 電話帳データを転送したい携帯電話を接続する

(14ページ)

## 2 電話帳転送モードにする

機能設定メニューで**電話帳転送**にタッチする  
(14ページ)

### 3 電話帳転送の待ち受け状態にする

#### 開始にタッチする

電話帳の転送を途中でやめるには、**停止**にタッチします。



### 4 携帯電話を操作して、本機に電話帳データを転送する

電話帳データの転送は、携帯電話を操作して行います。(携帯電話の操作方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)

- 電話帳の転送を始めると、Bluetooth接続が解除され、ハンズフリー機能が使えなくなります。ハンズフリー機能を使うには、もう一度接続の設定をしてください。ただし、自動接続をONにしている場合は、手動で接続の設定をしなくても、数十秒後に自動で再接続されます。
- 本機で表示できる電話帳データの最大文字数は、データを転送した携帯電話によって異なります。最大表示文字数は、24～48字です。
- 電話帳の電話番号中で使われている記号には、本機に転送できないものがあります。本機が扱える記号は、+、#、\*だけです。
- 携帯電話によっては、一括して電話帳データを転送できないことがあります。この場合、1件ずつ転送してください。
- 携帯電話によっては、転送されたデータを正しく表示できないことがあります。
- 画像を含む電話帳データは、正しく転送できないことがあります。

## 電話帳の表示方法を切り換える

電話帳データの名前と名字の表示位置を切り換えることができます。

### 1 電話帳表示切換モードにする

機能設定メニューで**電話帳表示切替**にタッチする(14 ページ)

タッチすると共に、“オリジナル”と“反転”に交互に切り換わります。

- 電話帳データを転送した携帯電話によっては、並べ換えを実行できないことがあります。

# 電話帳から電話をかける

携帯電話から転送した電話帳データを使って、電話をかけることができます。

- 1 電話帳を表示する  
電話帳にタッチする (9ページ)

- 2 電話をかけたい相手を選ぶ  
相手の名前にタッチする  
相手の詳細リストが表示されます。



- 3 選んだデータに複数の電話番号が登録されている場合、電話をかけたい電話番号を選ぶ  
かけたい番号にタッチする



- 4 電話をかける  
☎ にタッチする  
選んだ番号に発信します。

- 5 通話を終了する  
〻 にタッチする

# 電話帳編集画面を表示する

電話帳データに登録されている名前や電話番号を編集することができます。

- 1 電話帳から編集したいデータの詳細リストを表示する

- 2 電話帳編集画面を表示する  
編集したい項目の右側に表示されている編集にタッチする  
電話帳編集画面が表示されます。

# 電話帳データの名前や電話番号を編集する

名前や電話番号を編集することができます。

## 1 電話番号編集画面を表示する

## 2 編集する

### ■入力する位置を選ぶ（名前の場合）

- <タッチする：左に移動させるとき
- >にタッチする：右に移動させるとき

### ■入力する文字の種類を切り換える（名前の場合）

#### ABCにタッチする

文字の種類がアルファベットと数字/記号から選べます。

### ■入力する

#### 文字や数字にタッチする

名前でスペースを入力するには、**□**にタッチします。

消去するには、名前の場合は**✕**に、電話番号の場合は**クリア**にタッチします。



## 3 編集した名前や電話番号を登録する

### メモリにタッチする

詳細リストに戻ります。

- 編集すると17文字目以降は消去され、扱える文字が16までに制限されます。

# 電話帳データを削除する

電話帳データを1件ずつ削除できます。電話帳データ1件に登録されている電話番号（最大5つ）がすべて削除されます。

## 1 削除したい電話帳の詳細リストを表示する

## 2 削除する

### 削除にタッチする

## 3 削除の確認をする

“削除します。よろしいですか？”と表示されるので、**削除**にタッチする

消去をやめるときは**キャンセル**にタッチします。

削除が完了すると、電話帳の画面に戻ります。

- メモリの消去にかかる時間は、約10秒です。**削除**にタッチしてから約10秒間は、車のエンジンスイッチをON（ACC ON）のままにしてください。

# 履歴から電話をかける

本機の不在着信履歴、発信履歴、着信履歴に記録されている電話番号へ電話をかけることができます。

## 1 不在着信履歴、発信履歴、着信履歴のいずれかを表示する

履歴にタッチする (9ページ)

タッチすることにより、次のように切り換わります。

不在着信履歴→発信履歴→着信履歴→不在着信履歴に戻る



## 2 電話をかけたい履歴データを選ぶ

かけたい履歴データにタッチする

- 前へまたは次へにタッチして、履歴のリストを切り換えることができます。
- ABC/123にタッチすると、電話番号表示と名前表示を切り換えることができます。

## 3 電話をかける

☎ にタッチする

選んだ履歴データに発信します。

## 4 通話を終了する

〻 にタッチする

- 電話帳データに登録されている電話番号は、登録名が表示されます。

# よくかける電話番号を登録する

電話帳や発信履歴、ナンバー入力発信から、よくかける電話番号をプリセット番号に6つまで登録することができます。

## 1 電話帳の詳細リスト、不在着信履歴、発信履歴、着信履歴、ナンバー入力発信のいずれかを表示する

(9、22、11ページ)

## 2 登録したい電話番号を選ぶ

電話の待ち受け画面に切り換わり、ユーザー番号とデバイス名の下に電話番号が表示されます。

## 3 登録の画面に切り換える

**リストにタッチする**

プリセットダイアルリストに切り換わる。

## 4 登録する

**P1～P6の1つに2秒以上タッチする**

タッチしたプリセット番号に、電話番号が登録されます。



# データを消去する

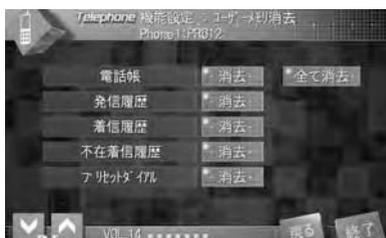
携帯電話から転送した電話帳データや登録したプリセットナンバー、発信履歴などのデータを消去します。

## 1 ユーザーメモリ消去モードにする

機能設定メニューで**ユーザーメモリ消去**にタッチする (14ページ)

## 2 消去するデータを選ぶ

**電話帳、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、プリセットダイアル**の中から消去したい項目を選び、**消去**にタッチする



- **全て消去**にタッチすると、電話帳、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、プリセットダイアルの全データを消去することができます。

## 3 消去の確認をする

**OK**にタッチする

“消去しますか？”と表示されるので、**消去**にタッチする

消去をやめるときは**キャンセル**にタッチします。

- メモリの消去にかかる時間は、約10秒です。**消去**にタッチしてから約10秒間は、車のエンジンスイッチをON (ACC ON) のままにしておいてください。

# 着信拒否を設定する

すべての着信を自動で拒否することができます。(この機能は、共通機能です。ユーザー(携帯電話)別に設定することはできません。)

## 1 着信拒否設定モードにする

機能設定メニューで**着信拒否**にタッチする  
(14ページ)

タッチするごとにON/OFFします。

- 着信が自動で拒否された場合、番号は着信履歴または不在着信履歴には登録されません。

# 着信音をON/OFFする

本機の着信音をON/OFFすることができます。(この機能は、共通機能です。ユーザー(携帯電話)別に設定することはできません。)

## 1 着信BEEP音設定モードにする

機能設定メニューで**着信BEEP音**にタッチする  
(14ページ)

タッチするごとにON/OFFします。

- 本機の着信音の設定は、携帯電話の着信音の設定には影響しません。本機と携帯電話の着信音が同時に鳴るのを避けるには、どちらかの着信音をOFFにしてください。

# 自動着信を設定する

電話がかかってきたときに、自動的に通話を開始することができます。(この機能は、共通機能です。ユーザー(携帯電話)別に設定することはできません。)

## 1 自動着信設定モードにする

機能設定メニューで**自動着信**にタッチする  
(14ページ)

タッチするごとにON/OFFします。

- 通話が開始されるのは、着信から5秒後です。
- 自動着信設定と着信拒否設定の両方をONにした場合、着信拒否設定が優先されてすべての着信が自動的に拒否されます。

# 通話中のノイズやエコーを軽減する

ハンズフリー通話中のノイズやエコーを軽減することができます。(この機能は、共通機能です。ユーザー(携帯電話)別に設定することはできません。)

## 1 エコーキャンセル設定モードにする

機能設定メニューで**エコーキャンセル**にタッチする(14ページ)

タッチするごとにON/OFFします。

# 本機のデバイス情報を確認する

本機のデバイス名(機器名称)やデバイスアドレスを確認することができます。また、本機のマイコンおよび本機に搭載されているBluetoothデバイスモジュールのバージョンを確認することもできます。

## 1 デバイス情報モードにする

機能設定メニューで**デバイス情報**にタッチする(14ページ)

BDアドレス、デバイス名称(Pioneer BT unit)、システムバージョン、BTモジュールバージョンが表示されます。

# 携帯電話のデバイス情報を確認する

本機に登録されている携帯電話のデバイス名(機器名称)やデバイスアドレスを確認することができます。

## 1 電話機を接続している状態で、電話機接続モードにする

機能設定メニューで**電話機接続**にタッチする(14ページ)

## 2 デバイスアドレスを表示する

**デバイス情報**にタッチする

もう一度タッチすると、デバイス名表示に戻ります。



# BT AUDIOソースについて

Bluetooth無線技術を利用して、Bluetooth対応機器を本機のソースとして使用することができます。

- 対応プロファイルとその概要は次のとおりです。

A2DP : 高音質オーディオを転送するためのプロファイル  
(Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP : AV機器をリモートコントロールするためのプロファイル  
(Audio/Video Remote Control Profile)

- 本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗する原因になります。
- 本機と組み合わせるBluetooth対応機器によっては、操作や動作がこの取扱説明書で説明している方法と異なる場合があります。Bluetooth対応機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- BT AUDIO再生中に、Bluetooth接続された携帯電話を操作すると、BT AUDIOの音声がなくなることがあります。BT AUDIO再生中は、Bluetooth接続された携帯電話の操作をお控えください。
- 曲に関する情報（曲番号や曲名、再生経過時間など）は、本機では表示できません。
- Bluetooth接続された携帯電話で通話しているとき、BT AUDIOソースの音声がミュートされます。
- Bluetooth対応機器の曲を再生中（BT AUDIOソース）に、他のソースに切り換えても、Bluetooth対応機器は曲の再生を続けます。

## 1 ソースをBT AUDIOにする

ソースアイコンにタッチして、**BT AUDIO**にタッチする



## Bluetooth対応機器の使用について

Bluetooth対応機器を本機のBT AUDIOソースとして使用する場合、Bluetooth接続（28ページ）を行う必要があります。

## 再生する

### 1 ▶/||にタッチする

接続したBluetooth対応機器の再生が始まります。

- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth対応機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

## 再生を停止する

### 1 ■にタッチする

Bluetooth対応機器の再生が停止します。

- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth対応機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

## 再生を一時停止する

### 1 ▶/||にタッチする

Bluetooth対応機器の再生が一時停止します。

- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth対応機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

## 聞きたい曲を選ぶ、早送り/早戻しをする

### 1 ◀◀または▶▶にタッチする

▶▶：次の曲を選ぶとき（または早送り）

◀◀：前の曲を選ぶとき（または早戻し）

#### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上操作し 続けている間

- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth対応機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 組み合わせるBluetooth対応機器によって、早送り/早戻し中に音が出る場合と出ない場合があります。

# 機能設定メニューを表示する

BT AUDIOの接続に関する設定は、機能設定メニューで行います。

## 1 AVメニューを表示する

AVメニューにタッチする

## 2 機能設定メニューを表示する

機能設定にタッチする



- **終了**にタッチすると、ソース画面に戻ります。
- **戻る**にタッチすると、前の画面に戻ります。

# Bluetooth対応機器を接続する

## 1 Bluetooth対応機器からの接続待ち受け状態にする

機能設定メニューで**接続待ち受け**にタッチする

## 2 Bluetooth対応機器を接続する

Bluetooth対応機器を操作して、本機に接続する

- Bluetooth対応機器によっては、操作が異なる場合があります。詳しくは、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth対応機器によっては、パスコードの入力が必要になる場合があります。
- パスコードの初期値は、「0000」です。パスコードを変更するには（30ページ）

# 本機のデバイス情報を確認する

本機のデバイス名（機器名称）やデバイスアドレスを確認することができます。また、本機のマイコンおよび本機に搭載されているBluetoothデバイスモジュールのバージョンを確認することもできます。

## 1 デバイス情報モードにする

機能設定メニューで**デバイス情報**にタッチする

BDアドレス、デバイス名称(Pioneer BT unit)、システムバージョン、BTモジュールバージョンが表示されます。

# Bluetooth接続を解除する

Bluetooth接続している機器の接続を解除します。

## 1 本機とのBluetooth接続を解除する

機能設定メニューで**接続解除**にタッチする

接続が解除されます。

# Bluetoothのパスコードを変更する

Bluetooth接続時に使用する暗証番号（パスコード）を変更することができます。（初期設定では「0000」になっています。）

## 1 初期設定メニューを表示する

ソースがOFFのときに、**AVメニュー**にタッチしてから、**初期設定**にタッチする

## 2 パスコード編集モードにする

**パスコード編集**にタッチする

## 3 パスコードを変更する

**0~9**にタッチして、数字を入力する

入力した数字を消去するには、**C**にタッチします  
数字は16桁まで入力できます。

## 4 新しいパスコードを決定する

**決定**にタッチする

新しいパスコードが本機に記憶されます。

- パスコードを変更するときは、自動接続の設定をあらかじめOFFにしておいてください（17ページ）。自動接続中は、パスコードを変更できません。



# その他のメインユニットと組み合わせた場合

以下のメインユニットと組み合わせた場合、本機はエクスターナルユニットとして操作されます。(エクスターナルユニットについて、詳しくはメインユニットの取扱説明書をご覧ください。)

メインユニットの取扱説明書に、本機の操作方法が記載されている場合は、そちらをご覧ください。

- 本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗する原因になります。
- 対応プロファイルとその概要は次のとおりです。

GAP (Generic Access Profile)	: Bluetooth対応機器間の接続を管理するためのプロファイル
SDP (Service Discovery Protocol)	: 他のBluetooth対応機器がサポートしているサービスを調べるためのプロトコル
HSP (Head Set Profile)	: Bluetooth対応のヘッドセットと接続するためのプロファイル
HFP (Hands Free Profile)	: Bluetooth対応のハンズフリー機器と接続するためのプロファイル
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	: 高音質オーディオを転送するためのプロファイル
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	: AV機器をリモートコントロールするためのプロファイル

\*通信接続するBluetooth対応の携帯電話やBluetooth対応機器に同じプロファイルが搭載されている必要があります。

- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、パスコードは「0000」に設定されます。また、このパスコードは変更できません。このため、パスコードとして何も要求しないBluetooth対応機器または「0000」を要求するBluetooth対応機器だけを接続できます。
- Bluetooth対応機器によっては、操作が異なる場合があります。詳しくは、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書を参照してください。
- 曲に関する情報(曲番号や曲名、再生経過時間など)は、本機では表示できません。
- BT AUDIO再生中に、Bluetooth接続された携帯電話を操作すると、BT AUDIOの音声がなくなる場合があります。BT AUDIO再生中は、Bluetooth接続された携帯電話の操作はお控えください。
- Bluetooth接続された携帯電話で通話している場合、BT AUDIOソースの音声がミュートされます。
- Bluetooth対応機器の曲を再生中(BT AUDIOソース)にほかのソースに切り換えても、Bluetooth対応機器は曲の再生を続けます。
- Bluetoothの無線接続の状況は、周囲の環境に左右される場合があります。
- TELソースとBT AUDIOソースでは、音量は同じになります。また、SLA (Source Level Adjustment) の音量は同じに設定されます。それぞれのソースで音量を変えたいときは、その都度調節してください。

■メインユニット1：FUNCTIONボタンやセレクションキーで操作するメインユニット

AVIC-ZH900、AVIC-ZH900MD、AVM-P7000、DEH-P9000、DEH-P7700、  
 DEH-P7000、DEH-P5500、DEH-P5000、DEH-P3300、DEH-P999、  
 DEH-P999HDD、DEH-P919、DEH-P910、DEH-P900、DEH-P777、DEH-P717、  
 DEH-P707、DEH-P700、DEH-P555、DEH-P515、DEH-P510、DEH-P505、  
 DEH-P500、DEH-P088、DEH-P077、DEH-P055、DEH-P050、DEH-P007、  
 DEH-P005、DEH-P004、DEH-P33、DEX-P01II、DEX-P1、DVH-P717、  
 DVH-P077、DVH-P077II、DVH-P007、FH-P9900MD、FH-P9000MD、  
 FH-P8800、FH-P7000MD、FH-P6000、FH-P5000MD、FH-P4000、  
 FH-P999MDR、FH-P919MDR、FH-P909MD、FH-P900MD、FH-P888MD、  
 FH-P818MDR、FH-P777MDR、FH-P717MD、FH-P710MD、FH-P707MD、  
 FH-P700、FH-P666MD、FH-P616MD、FH-P606、FH-P555MD、FH-P515MD、  
 FH-P510MD、FH-P505MD、FH-P444、FH-P414、FH-P404、FH-P99MDR、  
 FH-P88MD、FH-P77MDR、FH-P66MD、FH-P55MD、FH-P44、FH-P099MD、  
 FH-P077MD、FH-P055MD、FH-P050MD、FH-P040、FH-P009MD、FH-P007MD  
 FH-P005MD、FH-P003MD、KEH-P5500、KEH-P5000、KEH-P600、KEH-P400、  
 KEH-P303、MEH-P999、MEH-P919、MEH-P9900、MEH-P9000、  
 MEH-P9000CD、MEH-P7700、MEH-P5500、MEH-P5000、MEH-P800、  
 MEH-P777、MEH-P717、MEH-P707、MEH-P555、MEH-P515、MEH-P510、  
 MEH-P077、MEH-P070、MEH-P055、MEH-P050、MEH-P007、MEH-P005

■メインユニット2：ロータリーコマンドで操作するメインユニット

DEH-P710、DEH-P099、DEH-P070

■メインユニット3

AVH-P7DV、AVX-P7000CD、AVX-P9DV、AVX-P7

■メインユニット4

AVH-P9DVA、AVH-P9DVAII

■メインユニット5：AV一体型ナビゲーション

AVIC-DRZ90、AVIC-DRZ90K、AVIC-DRZ80、AVIC-DRZ09、AVIC-HRZ09、  
 AVIC-HRZ09K、AVIC-HRZ08、AVIC-VH009、AVIC-VH009MD、AVIC-ZH009

■メインユニット6

AVM-P9

■メインユニット7

DEH-P7

■メインユニット8

DEX-P01II、RS-D7XII、RS-D7XIII

# 機能対応表

## ■ メインユニット1

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする*1	SOURCE (ソース、SO、SRC) ボタンを押す (SOURCEセレクターを操作する)
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BAND (BAND/ESC、◀▶) ボタンを押す
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、BAND (BAND/ESC、◀▶) ボタンを2秒以上押す
電話に出る	電話がかかってきたときに、▲を押す
電話を切る	▼を押す
着信履歴/不在着信履歴を表示する	◀を押す
発信履歴を表示する	▶を押す
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、◀または▶を押す。電話の待ち受け画面に戻るときは、▼を押す
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに、▲を押す
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNCTION (FUNC、F) ボタンを押す
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC1 (F1) で▲または▼を押す
電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC1 (F1) で▲または▼を2秒以上押す
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC2 (F2) で▲または▼を押す
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC2 (F2) で▲または▼を2秒以上押す
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC3 (F3) で▲または▼を押す
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC3 (F3) で▲または▼を2秒以上押す
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC4 (F4) で▲または▼を押す
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、FUNC4 (F4) で▲または▼を2秒以上押す

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする*1	SOURCE (ソース、SO、SRC) ボタンを押す (SOURCEセクターを操作する)
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BAND (BAND/ESC、◀▶) ボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する*1	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、◀または▶を押す
曲の早送りまたは早戻しをする*2	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、◀または▶を押し続ける
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、FUNCTION (FUNC、F) ボタンを押す
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、FUNC1 (F1) で▲または▼を押す
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、FUNC1 (F1) で▲または▼を2秒以上押す
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、FUNC2 (F2) で▲または▼を押す
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、FUNC2 (F2) で▲または▼を2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL (A/M) ) で、◀または▶を押す

\*1 SOURCE (ソース、SO、SRC) ボタンがないメインユニットでは、本体のMDボタンで操作できます。(リモコンのMDボタンでは、操作できません。)

\*2 オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

\*3 オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 「FH-P077MD」、 「FH-P055MD」、 「FH-P005MD」、 「FH-P003MD」 の場合、表中の▲/▼/◀/▶ボタンの操作を参考に、セクターを上下左右に操作してください。
- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

## ■ メインユニット2

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCEボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、BANDボタンを2秒以上押す
電話に出る	電話がかかってきたときに、ロータリーコマンダーを上に表示する
電話を切る	ロータリーコマンダーを下に表示する
着信履歴/不在着信履歴を表示する	ロータリーコマンダーを左に表示する
発信履歴を表示する	ロータリーコマンダーを右に表示する
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、ロータリーコマンダーを左右に表示する。電話の待ち受け画面に戻るときは、ロータリーコマンダーを下に表示する
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに、ロータリーコマンダーを上に表示する
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてTELを選んでいるときに、ロータリーコマンダーを操作する
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーコマンダーを押す
電話機接続待ち受け (G.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーコマンダーを2秒以上押す
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーコマンダーを押す
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーコマンダーを2秒以上押す
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3 (F3)) でロータリーコマンダーを押す
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3 (F3)) でロータリーコマンダーを2秒以上押す
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) でロータリーコマンダーを押す
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) でロータリーコマンダーを2秒以上押す

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCEボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する* <sup>1</sup>	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ロータリーコマンドを左右に操作する
曲の早送りまたは早戻しをする* <sup>2</sup>	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ロータリーコマンドを左右に操作し続ける
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ロータリーコマンドを操作する
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーコマンドを押す
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーコマンドを2秒以上押す
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーコマンドを押す
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーコマンドを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL (A/M)) で、ロータリーコマンドを押す

\*<sup>1</sup> オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

\*<sup>2</sup> オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

## ■ メインユニット3

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	ソース (SRC) ボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BAND/ESCボタンを押す
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、BAND/ESCボタンを2秒以上押す
電話に出る	電話がかかってきたときに、ジョイスティックを上に乗作する
電話を切る	ジョイスティックを下に乗作する
着信履歴/不在着信履歴を表示する	ジョイスティックを左に乗作する
発信履歴を表示する	ジョイスティックを右に乗作する
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、ジョイスティックを左右に乗作する。電話の待ち受け画面に戻るときは、ジョイスティックを下に乗作する
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに、ジョイスティックを上に乗作する
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてTELを選んでいるときに、ジョイスティックを操作する
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNCTION1)でジョイスティックを上下に操作する
電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNCTION1)でジョイスティックを上下に2秒以上操作する
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNCTION2)でジョイスティックを上下に操作する
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNCTION2)でジョイスティックを上下に2秒以上操作する
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNCTION3)でジョイスティックを上下に操作する
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNCTION3)でジョイスティックを上下に2秒以上操作する
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNCTION4)でジョイスティックを上下に操作する
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNCTION4)でジョイスティックを上下に2秒以上操作する

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	ソース (SRC) ボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する* <sup>1</sup>	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ジョイスティックを左右に操作する
曲の早送りまたは早戻しをする* <sup>2</sup>	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ジョイスティックを左右に操作し続ける
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ジョイスティックを操作する
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNCTION1)でジョイスティックを上下に操作する
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNCTION1)でジョイスティックを上下に2秒以上操作する
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNCTION2)でジョイスティックを上下に操作する
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNCTION2)でジョイスティックを上下に2秒以上操作する
AUTOとMANUALを切り換える	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL)で、ジョイスティックを左右に操作する

\*<sup>1</sup> オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

\*<sup>2</sup> オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

## ■ メインユニット4

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	AVボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、バンドにタッチする
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、バンドに2秒以上タッチする
電話に出る	電話がかかってきたときに、↑にタッチする
電話を切る	↓にタッチする
着信履歴/不在着信履歴を表示する	←にタッチする
発信履歴を表示する	→にタッチする
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、←または→にタッチする。電話の待ち受け画面に戻るときは、↓にタッチする
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに、↑にタッチする
ファンクションモードを選ぶ	ファンクションにタッチする
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1にタッチする
電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1に2秒以上タッチする
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2にタッチする
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2に2秒以上タッチする
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3にタッチする
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3に2秒以上タッチする
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4にタッチする
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4に2秒以上タッチする

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	AVボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、バンドにタッチする
前の曲または次の曲を再生する* <sup>1</sup>	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ←または→にタッチする
曲の早送りまたは早戻しをする* <sup>2</sup>	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ←または→にタッチし続ける
ファンクションモードを選ぶ	ファンクションにタッチする
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション1にタッチする
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション1に2秒以上タッチする
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション2にタッチする
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション2に2秒以上タッチする
AUTOとMANUALを切り換える	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 オート/マニュアルにタッチする

\*<sup>1</sup> オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

\*<sup>2</sup> オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

## ■ メインユニット5

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	ソース (SRC) ボタンを押す。または、AVソース (AV-SRC) ボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDにタッチする
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、BANDに2秒以上タッチする
電話に出る	電話がかかってきたときに、▲にタッチする
電話を切る	▼にタッチする
着信履歴/不在着信履歴を表示する	◀にタッチする
発信履歴を表示する	▶にタッチする
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、◀または▶にタッチする。電話の待ち受け画面に戻るときは、▼にタッチする
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに、▲にタッチする
ファンクションモードを選ぶ	A.MENUボタンを押して、FUNCにタッチする
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1) で▲▼にタッチする
電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1) で▲▼に2秒以上タッチする
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2) で▲▼にタッチする
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2) で ▲▼に2秒以上タッチする
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3) で▲▼にタッチする
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3) で▲▼に2秒以上タッチする
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4) で▲▼にタッチする
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4) で▲▼に2秒以上タッチする

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	ソース (SRC) ボタンを押す。または、AVソース (AV-SRC) ボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDにタッチする
前の曲または次の曲を再生する*1	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、◀または▶にタッチする
曲の早送りまたは早戻しをする*2	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、◀または▶にタッチし続ける
ファンクションモードを選ぶ	A.MENUボタンを押して、FUNCにタッチする
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1)で↑↓にタッチする
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1)で▲▼に2秒以上タッチする
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2)で▲▼にタッチする
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2)で▲▼に2秒以上タッチする
AUTOとMANUALを切り換える*3	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、AUTO/MNL (オート/マニュアルモード) にタッチする

\*1 オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

\*2 オート/マニュアルモードで「MANUAL」を選んでいるときだけ操作できます。

\*3 「AVX-P9DV」および「AVX-P7」では、オート/マニュアルモード (AUTO/MANU) で◀/▶にタッチして切り換えます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

## ■ メインユニット6

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCEボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、BANDボタンを2秒以上押す
電話に出る	電話がかかってきたときに、▲を押す
電話を切る	▼を押す
着信履歴/不在着信履歴を表示する	◀を押す
発信履歴を表示する	▶を押す
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、◀または▶を押す。電話の待ち受け画面に戻るときは、▼を押す
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに、▲を押す
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてTELを選んでいるときに、MENUボタンを押してからジョイスティックを操作する
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1)でジョイスティックを押す
電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1)でジョイスティックを2秒以上押す
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2)でジョイスティックを押す
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2)でジョイスティックを2秒以上押す
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3)でジョイスティックを押す
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3)でジョイスティックを2秒以上押す
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4)でジョイスティックを押す
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4)でジョイスティックを2秒以上押す

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCEボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する*1	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ◀または▶を押す
曲の早送りまたは早戻しをする*2	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ◀または▶を押し続ける
ファンクションモードを選ぶ	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 MENUボタンを押してからジョイスティックを操作する
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション1モード (FUNC1)でジョイスティックを押す
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション1モード (FUNC1)でジョイスティックを2秒以上押す
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション2モード (FUNC2)でジョイスティックを押す
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 ファンクション2モード (FUNC2)でジョイスティックを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、 オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL (A/M)) で、ジョイスティックを押す

\*1 オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

\*2 オート/マニュアルモードで「Manual」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

## ■ メインユニット7

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCEボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、BANDボタンを2秒以上押す
電話に出る	電話がかかってきたときに、ロータリーセクターを押す
電話を切る	リモコンの▼を押す
着信履歴/不在着信履歴を表示する	ロータリーセクターを左に回す
発信履歴を表示する	ロータリーセクターを右に回す
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、ロータリーセクターを左または右に回す。電話の待ち受け画面に戻るときは、リモコンの▼を押す
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに、ロータリーセクターを押す
ファンクションモードを選ぶ	FUNCTIONボタンを押す
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーセクターを押す
電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーセクターを2秒以上押す
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーセクターを押す
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーセクターを2秒以上押す
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3 (F3)) でロータリーセクターを押す
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション3モード (FUNC3 (F3)) でロータリーセクターを2秒以上押す
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) でロータリーセクターを押す
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクション4モード (FUNC4 (F4)) でロータリーセクターを2秒以上押す

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCEボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する*1	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ロータリーセレクターを回す
曲の早送りまたは早戻しをする*2	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ロータリーセレクターを回し続ける
ファンクションモードを選ぶ	FUNCTIONボタンを押す
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーセレクターを押す
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション1モード (FUNC1 (F1)) でロータリーセレクターを2秒以上押す
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーセレクターを押す
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクション2モード (FUNC2 (F2)) でロータリーセレクターを2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、オート/マニュアルモード (AUTO/MANUAL (A/M)) で、ロータリーセレクターを回す

\*1 オート/マニュアルモードで「AUTO」を選んでいるときだけ操作できます。

\*2 オート/マニュアルモードで「Manual」を選んでいるときだけ操作できます。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

## ■ メインユニット8

ハンズフリー通話の操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCE (AUX) ボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
音声認識 (VOICE ON) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、BANDボタンを2秒以上押す
電話に出る	電話がかかってきたときに、▲を押す
電話を切る	▼を押す
着信履歴/不在着信履歴を表示する	◀を押す
発信履歴を表示する	▶を押す
発信履歴または着信履歴/不在着信履歴から電話番号を選ぶ	発信履歴または着信履歴/不在着信履歴を表示しているときに、◀または▶を押す。電話の待ち受け画面に戻るときは、▼を押す
電話をかける	履歴で電話番号を選んでいるときに▲を押す
ファンクションモードを選ぶ	リモコンのカバーを開ける
履歴にある電話番号をスクロール表示する	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/1を押す
電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/1を2秒以上押す
電話機登録モード (REGIST) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/2を押す
電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/2を2秒以上押す
自動着信の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/3を押す
電話機自動接続の設定をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/3を2秒以上押す
着信音をON/OFFする	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/4を押す
デバイス情報を表示する。または、切り換える	ソースとしてTELを選んでいるときに、ファンクションボタン/4を2秒以上押す

BT AUDIOの操作	
ソースをTELまたはBT AUDIOにする	SOURCE (AUX) ボタンを押す
TELとBT AUDIOを切り換える	ソースとしてTELまたはBT AUDIOを選んでいるときに、BANDボタンを押す
前の曲または次の曲を再生する*1	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、◀または▶を押す
曲の早送りまたは早戻しをする*1	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、◀または▶を押し続ける
ファンクションモードを選ぶ	リモコンのカバーを開ける
曲を一時停止する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクションボタン/1を押す
BT AUDIO接続待ち受け (C.OPEN) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクションボタン/1を2秒以上押す
曲を再生する	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクションボタン/2を押す
BT AUDIO接続解除 (DISCONN.) モードにする	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクションボタン/2を2秒以上押す
AUTOとMANUALを切り換える	ソースとしてBT AUDIOを選んでいるときに、ファンクションボタン/5を押す

\*1 ファンクションボタン/5を押すごとに、◀▶ボタンの機能が切り換わります。

- 表に記載されていないボタンやファンクションは、ハンズフリー通話/BT AUDIOの操作には使用しません。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、電話を切っても元のソースに自動では戻りません。手動で希望のソースを選んでください。
- 音声認識は、組み合わせる携帯電話が音声認識に対応している場合に使用できます。

# 携帯電話を接続する

ハンズフリー通話や本機から携帯電話の操作を行うには、Bluetooth無線技術で接続する必要があります。

- 通常はHFPで接続されます。この場合、TELソースのすべての機能を使用できます。ただし、携帯電話から接続したときなどには、HSPが使われることがあります。この場合、いくつかの機能が使用できないことがあります。
- Bluetooth無線技術で接続された携帯電話は、本機に登録しなくても使用することができます。この状態を「一時接続」と言います。ただし、一時接続では、操作できる機能に制限があります。すべての機能を操作できるように、よくお使いになる携帯電話は、本機に登録することをお勧めします。携帯電話に登録するには（51ページ）
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、パスコードは「0000」に設定されます。また、このパスコードは変更できません。このため、パスコードとして「0000」を要求するBluetooth対応機器だけを接続できます。

# 携帯電話から接続する

携帯電話からBluetooth接続を行います。（携帯電話の操作方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

## 1 電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする（「機能対応表」）

携帯電話からの接続待ち受け状態になります。

電話機接続待ち受け (C.OPEN) モードにする前は、NO TELと表示されています。

## 2 携帯電話をBluetooth接続する

携帯電話を操作して、本機とBluetooth接続する

接続が完了すると、TELと表示されます。

- 携帯電話によって操作は異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話によっては、パスコードの入力が必要になる場合があります。

# 携帯電話を登録する

一時接続中の携帯電話を本機に登録します。

## 1 電話機登録 (REGIST) モードにする (「機能対応表」)

電話機登録 (REGIST) モードにする前は、TELと表示されています。

## 2 携帯電話を登録する

携帯電話を操作して、本機とBluetooth接続する

接続が完了すると、TEL REG.と表示されます。

- 携帯電話によって操作は異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話によっては、パスコードの入力が必要になる場合があります。

# 携帯電話の接続を解除する

使わなくなった携帯電話の接続を解除することができます。

## 1 電話機接続解除 (DISCONN.) モードにする (「機能対応表」)

解除が完了すると、NO TELと表示されます。

# 音声操作で電話をかける

音声認識機能のある携帯電話がHFP (32ページ) 接続されている場合、音声認識機能で電話をかけることもできます。音声操作について詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

## 1 音声認識 (VOICE ON) モードにする (「機能対応表」)

## 2 音声操作で電話をかける

電話をかけたい相手の名前を発話する

発話した名前の相手に発信します。

# 自動着信を設定する

電話がかかってきたときに、自動的に通話を開始することができます。

## 1 自動着信の設定をON/OFFする（「機能対応表」）

設定の状態が表示されます（例：ANSW ON）。

- 通話が開始されるのは、着信から5秒後です。
- 自動着信設定と着信拒否設定の両方をONにした場合、着信拒否設定が優先されてすべての着信が自動的に拒否されます。

# 登録されている携帯電話を自動で接続する

本機に登録されている携帯電話が本機とBluetooth接続が可能な範囲にある場合、自動的に本機と携帯電話をBluetooth接続するように設定できます。

## 1 電話機自動接続の設定をON/OFFする（「機能対応表」）

設定の状態が表示されます（例：AUTO ON）。

自動接続設定をONにすると、本機に登録されている携帯電話と自動的にBluetooth接続を開始する待機状態になります。登録されている携帯電話を探しているときはSEARCHが、接続を確立しているときはWAITが表示されます。

- 登録されている携帯電話でも機種によっては、自動では接続できない場合があります。この場合は、手動で接続してください。手動で接続するには（50ページ）
- 携帯電話の中には、本機との接続時にユーザーに接続することを通知して確認を促す機種があります。そのような機種と組み合わせたときには、本機で自動接続の設定をONにしても、自動では接続できません。携帯電話によっては、その接続確認をしない設定を用意している機種もあります。詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- BT AUDIO再生中は、自動では接続できない場合があります。この場合に自動で接続するには、再生を停止するか他のソースに切り換えてください。

# 着信音を設定する

本機の着信音をON/OFFすることができます。

## 1 着信音をON/OFFする（「機能対応表」）

設定の状態が表示されます（例：BEEP ON）。

- 本機で設定した着信音のON/OFFは、組み合わせた携帯電話で有効になるわけではありません。本機と携帯電話で着信音を同時に鳴らしたくないときは、どちらかの着信音の設定をOFFにしてください。

# 本機のデバイス情報を確認する

本機のデバイス名（機器名称）やデバイスアドレスを確認することができます。また、本機のマイコンおよび本機に搭載されているBluetoothデバイスモジュールのバージョンを確認することもできます。

## 1 デバイス情報を表示する（「機能対応表」）

## 2 デバイス情報を切り換える（「機能対応表」）

デバイスアドレス→デバイス名（PIONEER）→マイコンのバージョン→Bluetoothデバイスモジュールのバージョンの順序で切り換わります。

- 携帯電話で確認した場合、本機のデバイス名はPioneer BT unitと表示されます。

# Bluetooth対応機器を接続する

## 1 BT AUDIO接続待ち受け（C.OPEN）モードにする（「機能対応表」）

BT AUDIO機器からの接続待ち受け状態になります。

BT AUDIO接続待ち受け（C.OPEN）モードにする前は、NO AUDIOと表示されています。

## 2 BT AUDIO機器をBluetooth接続する

BT AUDIO機器を操作して、本機とBluetooth接続する

接続が完了すると、BT AUDIOと表示されます。

- BT AUDIO機器によって操作は異なります。詳しくは、BT AUDIO機器の取扱説明書をご覧ください。
- BT AUDIO機器によっては、パスコードの入力が必要になる場合があります。
- 本機をエクスターナルユニットとして使用する場合、パスコードは「0000」に設定されます。このパスコードは変更できません。本機は、パスコードとして「0000」を要求する、または何も要求しないBluetooth対応機器を接続できます。

# Bluetooth対応機器の接続を解除する

## 1 BT AUDIO接続解除（DISCONN.）モードにする（「機能対応表」）

解除が完了すると、NO AUDIOと表示されます。

# 接続・取り付け部品を確認する



本機 × 1



マジックテープ  
(かたい方) × 2



マジックテープ  
(やわらかい方) × 2



電源コード × 1



IP-BUSケーブル  
(3 m) × 1



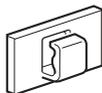
マイク (4 m) × 1



マイククリップ × 1



両面テープ  
(23 × 14 mm) × 1



クランパー × 5

# 接続の前に知ってほしいこと

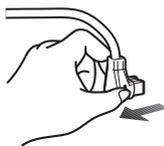
## ■ 接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。

## ■ コネクターの着脱のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



## ■ 接続のポイント

### IP-BUSの接続について

- IP-BUS端子とIP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。)

### ノイズ防止のために

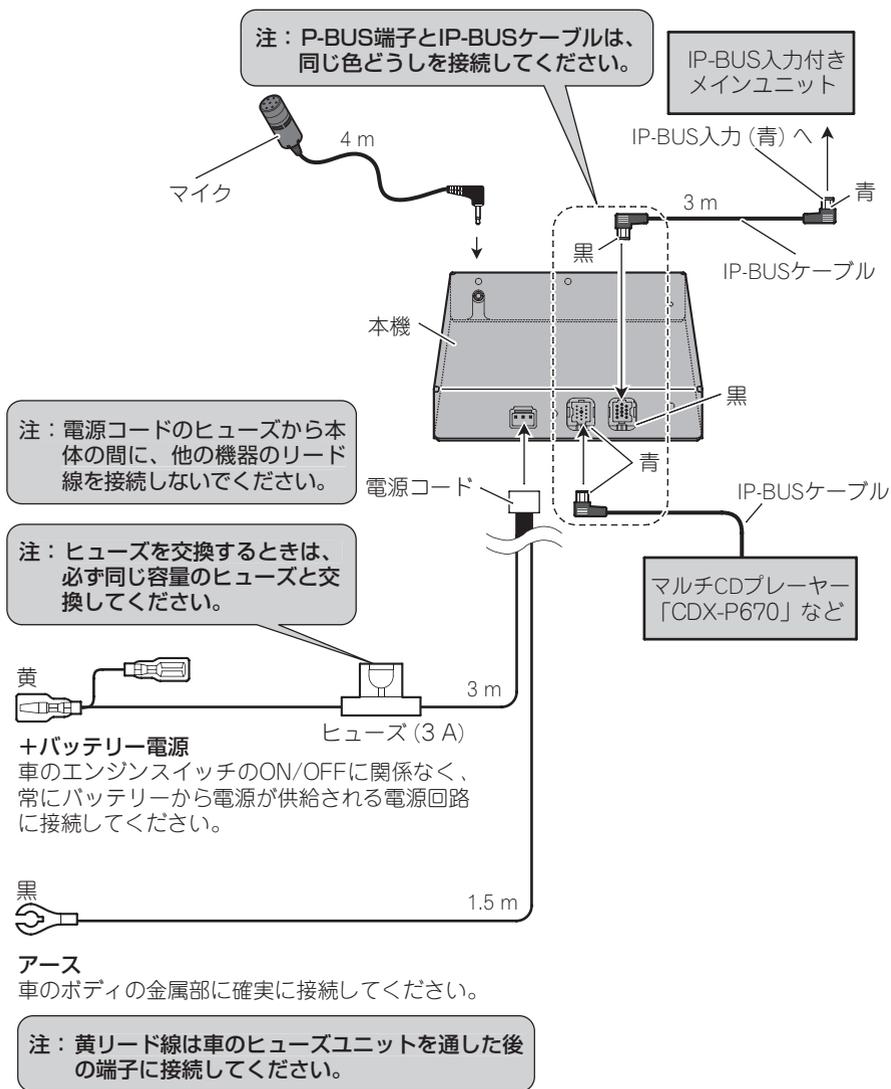
- アンテナコードは、電源リード線からできるだけ離して配置してください。

### 電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

# 接続する

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。





# 取り付けの前に知ってほしいこと

## ■ 取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
  - \* ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
  - \* ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。
- 本機は、天面側に十分なスペースを取って、取り付けてください。天面側にはアンテナがあります。この部分を覆うと、データの送受信に支障をきたす恐れがあります。
- 本機を取り付ける場所によっては、Bluetooth対応機器の再生中にノイズが発生することがあります。この場合は、取り付ける場所を変えてください。

## ■ 取り付けのポイント

### 取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

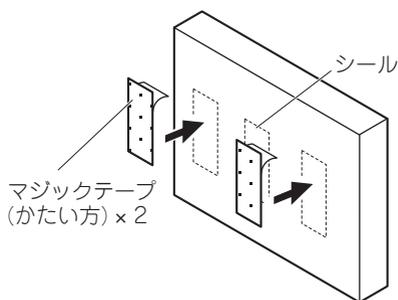
### 粘着テープを貼り付ける前に

- マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。また、両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

# 本機を取り付ける

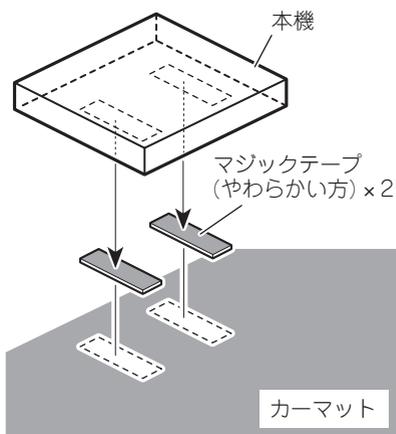
## 1 マジックテープ (かたい方) を本機の底面に貼り付ける

マジックテープを貼り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



- シールには、製品の型名、シリアル番号が記載されています。マジックテープを貼るときは、シールを隠さないように貼り付けてください。

## 2 マジックテープ (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付ける



- マジックテープ (かたい方) がカーマットに貼りつく場合は、カーマットに直接取り付けすることもできます。この場合、マジックテープ (やわらかい方) は使用しません。

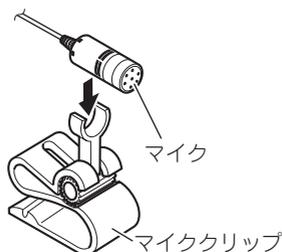
# マイクを取り付ける

## 取り付け上のご注意

- ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。

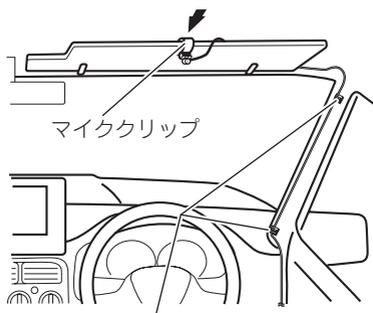
## サンバイザーにはさんで取り付ける場合

### 1 マイククリップにマイクを取り付ける



### 2 サンバイザーにマイククリップを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識されません。



クランプ × 5  
クランプで要所を  
固定しながら、マイク  
コードを引き回し  
ます。

## ステアリングポストに取り付ける場合

### 1 マイククリップにマイクを取り付ける

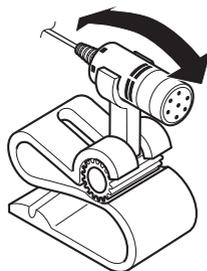


### 2 ステアリングポストにマイククリップを取り付ける



### マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイククリップの可動部を前後に動かして調節します



# 動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

## 1 接続・取り付けをもう一度確認する

### 確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

## 2 車のエンジンをかける



## 3 本機の動作を確認する



# 故障かな?と思ったら

## 故障かな? と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

## チェックしても 直らないときは

本機をリセットしてください。(6ページ)

## それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービス」(66ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (56ページ)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (56ページ)
着信画面が表示されない。	着信拒否が設定されている。	着信拒否を解除してください。 (24ページ)
	使っている携帯電話が対応していない。	—

# こんなメッセージが表示されたら

正常に動作しないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
「ERROR-10」	内蔵のBluetoothユニットに異常があるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。
「ERROR-80」	内蔵のフラッシュROMに異常があるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# おもな仕様

## ■ 共通部

### 使用電源：

DC 14.4 V (10.8~15.1 V 使用可能)

### アース方式：

マイナスアース方式

### 最大消費電流：

0.2 A

### 外形寸法：

(取付寸法)：

146 (W) × 25 (H) × 90 (D) mm

### 質量：

0.37 kg (コード含まず)

### Bluetoothバージョン：

Bluetooth 1.2 certified

### 出力：

+4 dBm Max.

(Power class 2)

### 対応プロファイル：

GAP (Generic Access Profile)

SDP (Service Discovery Protocol)

HSP (Head Set Profile)

HFP (Hands Free Profile)

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

OPP (Object Push Profile)

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

## ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

**商品についてのご相談窓口** ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

### カスタマーサポートセンター (全国共通フリーフォン)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

## 修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

**修理についてのご相談窓口** ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

### 修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

### 沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

**部品のご購入についてのご相談窓口** ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

### 部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

©パイオニア株式会社 2006

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

<KMIZX> <06A00000> <CRA3835-A/N>